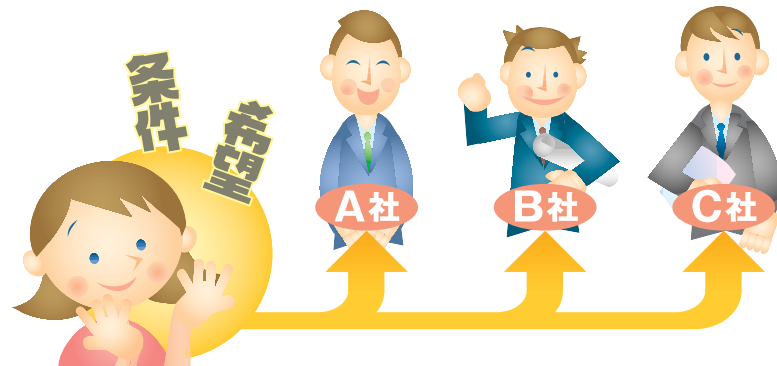


候補の中から 事業者を決めましょう。

事業者候補から提案書や見積書を提出してもらいましょう。

- 複数の事業者から見積りを取ることを「相見積り」といいます。工事の内容が具体的に決まっている場合は、事業者候補すべてに同じ条件で見積りを依頼しましょう。
- 具体的な工事の内容が決まっていない場合は、設計・工事内容に関する提案書と見積書を提出してもらいましょう。
- あらかじめ「相見積りの依頼であること」、「無料で協力してもらえる範囲での依頼であること」などを明確に伝えましょう。また、「各事業者に同じ条件・希望を正確に伝えること」「単価や数量、仕様などの明細が分かるように作成を依頼すること」「提示された見積りは他の事業者には見せないこと」などがポイントです。



金額だけではなく内容も含めてチェックしましょう。

- 同じ条件で依頼したつもりでも、相見積りの金額に大きく差が出てしまうこともあります。見積り内容が、条件・希望にあっているかチェックしましょう。
- 工事内容がわかりにくく「〇〇工事一式」などと表示されているものは、単価、数量、仕様、品名などの明細を求めるようにしましょう。



施工体制や保証内容などを確認しましょう。

- 自社内で直接、施工や管理をするのか、保証などアフターサービスの内容はどうか確認しましょう。



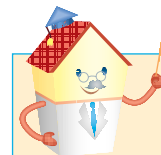
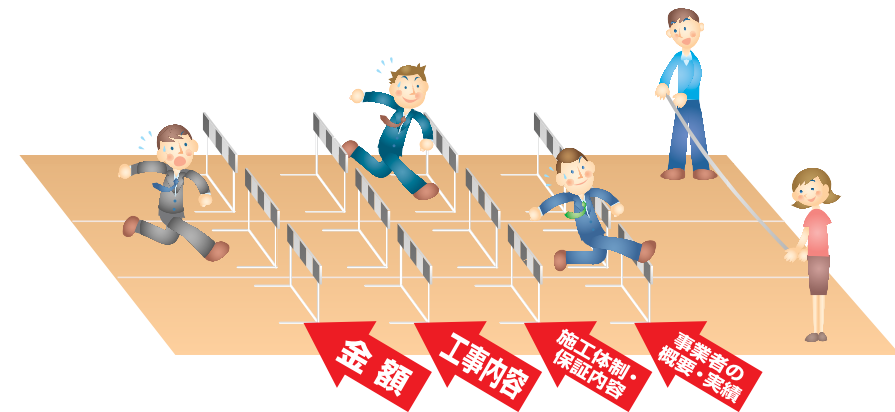
事業者の概要や実績を確かめましょう。

- 会社案内をもらうなど事業者の概要を確認しましょう。
- できれば実際に事業所に行って対応がしっかりしているかを確認してみましょう。
- これまでの施工例を見せてもらいましょう。



納得いくまで確認・検討しましょう。

- 見積書や提案書の内容について、分からないことがあれば、納得がいくまできちんと確認しましょう。
- 見積書や提案書を見ながら、金額、工事内容、施工体制や保証内容、事業者の概要や実績などを総合的に考えて事業者を決めましょう。



最終的に選定した事業者の見積書、提案書、打ち合わせのメモなどは、整理して保管しておきましょう。